

文京学院は、平成 26 年に創立 90 周年を迎えます。

国際形態科学シンポジウム

本校がポスターコンテスト「ポスター特別賞」を受賞！

第23回国際形態科学シンポジウムが9月10日（13日、朱鷺メッセ（新潟県）で開催され、コアSの日の一環で参加した本校生徒6名が、国際舞台で大活躍しました。

ター特別賞」を受賞しました。国内の医学部系の研究者ほか、イタリヤ、ポルトガル、

本校の細川華也子さん（3楓）、荒木七海さん（2来さん）（2梅）、西川真由蘭、諸田玲奈さん（同、さん）（同）が、第23回国際形態科学シンポジウムに於いて「ボスト」に参加者は約140名。

たのが始まりで、数年ごとの発達と進化「細胞工学」の研究分野は「眼

吉河楓さん（同）、田辺末
来さん（2梅）、西川真由
さんが、第23回国際
日本では2000年
に世界各国で開催されてい
ます。京都で開催され、今回
「E.V.I.Oイメージング」（牛
体システムを生きたまま観
察する方法）「最新のMR
I・電子顕微鏡の応用」な

学会です。研究分野は「眼

「E.V.I.Oイメージング」（牛
体システムを生きたまま観
察する方法）「最新のMR
I・電子顕微鏡の応用」な

ど。英語での解説方法のほ
か、美しいパワーポイント
の作り方などに、生徒たち
は大いに刺激を受けまし
た。



ポスターセッション後に海外の研究者から拍手を受ける細川さん（奥中央）



「ポスター特別賞」を受賞した（左から）西川さん、荒木さん、吉河さん、田辺さん、諸田さん、細川さん

大学
根津神社例大祭（影祭り）

根津神社例大祭（影祭り）が9月21日と22日に開かれ、町内会の神輿が神社境内と根津の町を練り歩きました。その中のひとつ、宮本町会の神輿を、本学の国際連携教育プログラムで学ぶ留学生たちが担ぎました。これは、鵜浦裕外語学部教授が指導する当日は、留学生一同、町会の方々から神輿担ぎの講習を受けた後、法被とねじり鉢巻を身につけて、いなせな出で立ちに変身。本

や拍手が起こり、カメラのシャッター音が一斉に鳴り響きました。長身の留学生も担ぐため、神輿が斜めになるのもご愛嬌で、観衆を

喜ばせました。

同町会の宮田昇会長は「留学生が神輿を担ぐのも、今年で11年目。若い力が町会を活性化させ、機動力にも繋がるので皆から喜ばれています」と笑顔。

留学生からは「肩が痛かったけれど、こんなに素晴らしい異文化体験をできて、とても楽しかった!」という声が寄せられました。



宮本町の神輿の前でワクワク



元気な留学生たちは注目の的

高校 国体バレーボール競技少年女子

東京都選抜チームが優勝！

本校から3選手が出場

田市で開催された国民体育大会
でのバレーボール競技少年女子
で、「東京都選抜チーム」が優
勝しました。

本校からは柳田光綺さん（3
 檀）・小林桃子さん（3杉）・田
 原愛里さん（2楓）の3名が選
 拔選手として参加。本校バレー
 ボール部監督の吉田岳史教諭
 も、コーチとして参加しました。

以下、試合結果です。

準決勝 東京都（選抜） 3
熊本県（熊本信愛女子） 2

【決勝】
東京都 3-0 長崎

高校 島田和幸賞
宇都宮さんとバ

手都宮姫子（3校）。
合格率10%の難関に挑戦し、初めての受験で台格。

★インターハイ第3位 鶴巻姫子（3校）
バレーボール部

千千依（3秋）、蛭田真未（3秋）、星愛莉沙（3秋）、瀧

杉)、小林桃子(3杉)、柳沼優花(2檜)、村田実優(3

内美和子（1楓）、中沢美稀（1檜）、牧野桃花（1檜）、富澤結花（1檜）。
柳沼さんが「大会優秀選手」、蛭田さんが「大会ベスト6」に選出されました。
★世界ユース選手権第5位
|| 柳田光綺（3檜）、田原愛里（2楓）。
日本代表メンバーとして出場し、両選手とも中心選手として全試合に出場。準々決勝に進みました。

「遊びから学ぶ」を大切にして保育しているのがふじみ野幼稚園です。

この夏休みにトンボが幼稚園で卵を産み、子どもたちがヤゴを飼育しました。ヤゴからトンボになるといことは、図鑑で知ることができまふ。しかし、実際にヤゴの飼育をした

保育 岸由美子 ふじみ野幼稚園園長

員で組織されています。様々な経験や考えがあり、それぞれの特長を活かして保育を行えるような環境づくりに努めています。また、担任教員、補助教員と立場の違う教員がいかに連携を取って保育していくかも大切です。教員同士が、話し合い、意見を出し合い、そして、教員間の信頼関係があるからこそ、ふじみ

本校ブースは常に大人気。質問だけではなく「胸びれの神経比較、血管と腕神経との関係を調べても面白いのでは」などのアドバイスもありました。企業の展示コーナーでは、先端技術を駆使した展示があり、担当者が生徒に丁寧に説明。スマートフォンやiPadで無料ダウンロードできる人体の立体視コーナーも在り、生徒たちの興味は最高潮に達しました。

さらに「パーキンソン病の発見の歴史から現在の最先端研究まで」のような解説を、ランチを摂りながら行うランチセミナーにも参加。生徒たちは、カラーの英語の自己紹介文が入った名刺を参加者と積極的に交換。海外の大学のみならず、東京医科歯科大学、新潟大学、島根大学、順天堂大学など医学部の先生とも知り合つことができました。

同シンポジウム参加にあたり、樋口桂准教授（本学保健医療技術学部）、棚橋信雄先生（高校SSS担当）、本学教職課程センターと、アンドレイ・ステファナ先生らが研究指導を強力にサポート。生徒たちへの的確な指導、海外の研究者との橋渡しなどが功を奏しただけでなく、内容的にも他の（生徒感想は4面参照）。

発表者と遜色がなく、研究上、示唆に富むものであったことからポスター特別賞の受賞が実現しました。

棚橋先生は、「学会としても新しい流れを取り込みたい」という思いが感じられ、会長を始め運営委員などから多くの面で生徒たちを目をかけていただきました。私たち教員が場所を提供すれば、生徒たちはいくらかでも喰らいつき努力して成長していきます。様々なチャンスに積極的にチャレンジさせる必要性を強く感じました」と生徒の能力の可能性について触れました（生徒感想は4面参照）。

Green Spirits



ふじみ野幼稚園
は、自然環境に大
変恵まれておりま
す。たくさんの
す。

木々と草花に囲まれた園庭、季節の野菜を栽培できる畑、かくれんぼや基地づくりなどができる森などがあります。

この色水コーナーでは、全学年の子ともたちが遊んでいます。年長児がやっていることを年中・年少児が真似をしています。異年齢の子ともたちが自然にかかわる環境になっています。

ふじみ野幼稚園は、若手からキャリアのある先生まで幅広い年齢層の教員で組織されています。様々な経験や考えがあり、それぞれの特長を活かし、それぞれが保育者として保育を行えるようになっています。

岸由美子 ふじみ野幼稚園園長補佐

あるからこそ、ふじみ野幼稚園の保育が成り立っているのです。

教員は、子どもにとって一番大切な環境です。人が育つ場である幼稚園の環境であるということに常に意識し、保育を進めていきたいと思います。

日頃より、文京学院大学の先生方に、多方面にわたってご指導いただいておりますが、今後も大学院授業や研修会を通して勉強してまいりたいと思っております。

